国立大学法人広島大学　～感染症に強い日本を創るプロジェ クト～

学長メッセージ

2019年12月に最初の症例が報告された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中へと広がり、2020年の1年間で8,000万人以上が感染、亡くなった人も170万人余りに達しました。新型コロナウイルス感染症は、人々の生活にもかつてない激変をもたらし、感染パンデミックが医療，教育，経済などあらゆる人類の社会活動を危機的状況に陥れることを明らかにしました。
このような中で、広島大学では、広島CoVピースプロジェクトを立ち上げ、医学・歯学・薬学・保健学の研究室が一丸となってPCR検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化など、多方面のプロジェクトを進めています。また、日本医療研究開発機構（AMED）の令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」では、「実証」、「改良」、「有効性確認研究支援」、「基礎研究支援」の4分野の公募に対し、本学からの研究課題が全ての分野で採択されており、本学の研究が評価された結果であると受け止めています。
さらに、人材育成においても同様に、医歯薬保健学の諸分野が連携し、感染症医療人材養成事業を推し進めているところです。
広島大学は、皆様からのご支援をとおして「感染症に強い日本を創るプロジェクト」を推進し、社会へ貢献してまいります。

学長　越智 光夫

感染症に強い日本を創るプロジェクト

このプロジェクトでは、新型コロナウイルスを含む既知の様々な感染症への対策や、近未来外来感染症（観光、医療、ビジネス等に関連して入国するかもしれないウイルス、細菌、寄生虫などによる今までにない感染症）へ対応するための以下の取組を推進します。

①感染症に打ち勝つための研究・開発
②感染拡大時に即時対応可能な人材育成
③感染症に係る診療支援・機器等整備

ご寄付いただいた場合

◆広島大学基金へのご寄付は、所得税の寄付金控除を受けることができます。

◆プロジェクトの進捗等を記載した、広島大学基金活動報告書をお届けいたします（2月ごろ）

◆記念品の贈呈
・ご支援の金額により、記念品を贈呈いたします。

◆広報誌等でのお名前のご紹介、ネームプレートの設置
・ご希望頂いた方には、広報誌等でのお名前のご紹介や、ご支援の金額によりキャンパス内の施設にネームプレートを設置いたします。

団体連絡先

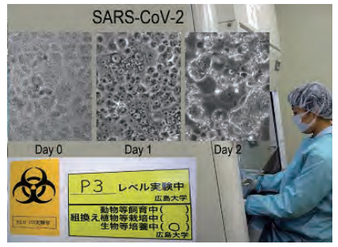
広島大学基金室

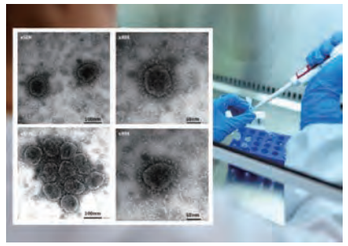
〒739-8511　広島県東広島市鏡山1-3-2
TEL:082-424-6132
E-Mail:kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

ご支援の使徒

感染症に打ち勝つための研究・開発

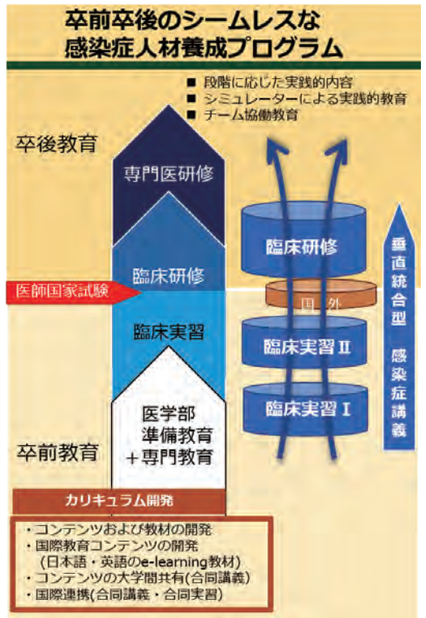
感染症に打ち勝つため、検査体制の確立、医療機器等の開発、ウイルス治療薬の探索を推進します。
例えば新型コロナウイルス感染症に対しては、本学病院感染症科と大学院医系科学研究科ウイルス学のグループが、中心波長222nm(ナノメートル、10億分の1メートル)紫外線による新型コロナウイルスの不活化効果を世界に先駆けて明らかにしました。波長222nm紫外線は、波長254nm紫外線と比較して人の目や皮膚に安全性が高いとされており、222nm紫外線を用いた新型コロナウイルス感染症に対する感染対策への応用が期待されます。

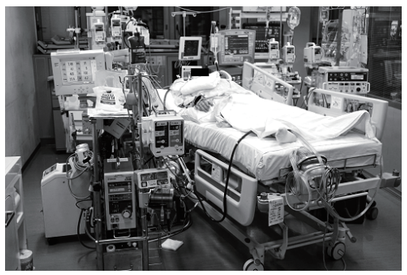




感染拡大時に即時対応可能な医療人材育成

感染経路が多様な新興感染症や再興感染症が相次いで登場する中で、医療現場における危機レベルの向上が求められています。広島大学の特徴である医学、歯学、薬学、保健学の連携や医学教育センター、感染症学講座が一丸となって、学外組織とも連携のうえ、感染拡大時に即時対応可能な医療人材の育成に、組織的に取り組みます。



感染症に係る診療支援・機器等整備

令和2年9月に感染症などの「危機に強い」病院を目指して『危機医療センター』を設置しました。
感染症科をはじめ複数診療科の「協働」により危機時診療体制を整備・充実します。